



August, 2017

# BIG-IP: ヘルスチェック機能

PRESENTED BY:

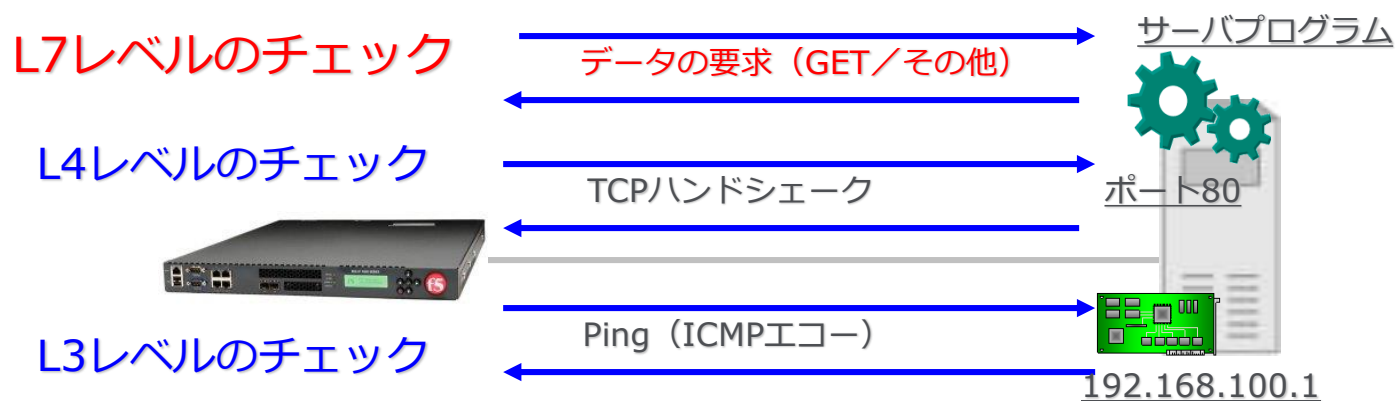
F5ネットワークスジャパン

WE MAKE APPS  FASTER.  
SMARTER.  
SAFER.

# サーバの障害を検知する

## Activeヘルスマモニタ機能

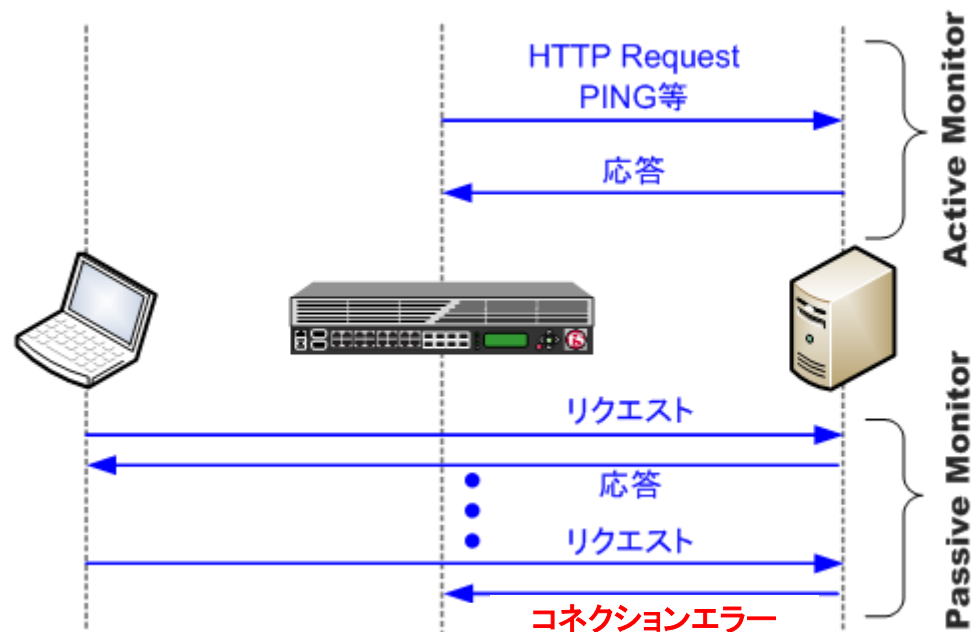
- **L3~L7まで、さまざまな角度でサーバ障害を検知**
- **L3チェック**: ICMPエコーにより、ネットワークの接続状態を検知
- **L4チェック**: TCPのハンドシェイクにより、サーバの動作を検知
- **L7チェック**(ECV/EAV): サーバへ擬似要求を出すことで、コンテンツの状態・複雑なサービス・UDPサーバの動作を検知
- **障害を起こしたサーバにはトラフィックを振り分けない**



# サーバの障害を検知する

## Passiveヘルスマモニタ

- 実際のトラフィックのエラー応答を検出してプールメンバーをDownさせることができます
- Active Monitorとの併用が可能です
- Pool Memberがupの間はPassive Monitorを、downの間はActive Monitorを使うといったことも可能です



# 対応しているプロトコル/アプリケーション

- L3  
ICMP Echo
- L4  
TCP : Echoの送信, コネクション確立確認, Half Openの確認  
任意の文字列の送受信  
UDP : 任意の文字列の送受信
- L7  
Diameter, RADIUS(Accounting), HTTP[S], FTP, IMAP, LDAP, MSSQL, MySQL, NNTP, Oracle, POP3, PostgreSQL, Real Server, SASP, RPC, SIP, SMB, SMTP, SOAP, WAP, WMI, FirePass, DNS
- その他  
External : BIG-IP内のプログラムの実行  
Scripted : 任意の文字列の送受信の繰り返し  
Inband : 実トラフィックがサーバに到達できたかどうかのチェック

